

てがたんレポート Vol. 4 No. 12 (2007年12月：通巻45号)

- ・ 観察コースと内容：鳥の博物館→香取神社→水神山古墳→フジ棚→→芝生広場→鳥の博物館
- ・ 観察日時／天気：2007年12月8日（土）10:30～12:00／晴れ
- ・ 参加人数：19人
- ・ 観察案内&記録ボランティア・スタッフ:12人（敬称略・五十音順）：木村稔、染谷迪夫、小泉伸夫、中野久夫、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、水上香苗、湯瀬一栄
- ・ 鳥博職員：岡廣志、村松和行

観察記録ー12月に観察した生き物リストー

★観察した生き物

【鳥類】カイツブリ、ハジロカイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、オオタカ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、カシラダカ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス（外来種や家禽）ドバト

【昆虫】ムラサキシジミ、ハグロハバチ、トドノネオオワタムシ（ユキムシ）、ヨコツナサシガメ、ナナンホシシテントウ、ショウリョウバッタ、コバネイナゴ

【植物】

冬越しの植物（ロゼットや幼苗）：オオバコ、セイヨウタンポポ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、オランダミミナグサ、コハコベ、チドメグサ、ヒメシオン、ハルジオン、オオアレチノギク、タネツケバナ

その他の植物：オシロイバナ、セイタカアワダチソウ、ウラシマソウ（実）

樹木：コブシ（冬芽）、サンショウ、シラカシ、スダジイ、ムクノキ、ヤマグワ、シロダモ（実）、ケヤキ、クスノキ、イチヨウ、ハゼノキ

12月の観察アルバム



出発



十ナホシテントウの蛹

黒い体に赤い横線の十ナホシテントウの蛹がありました。十ナホシテントウは赤い体に黒い横線が特徴。



ユキムシ発見！

正式な名前はトドノネオオワタムシ。アズラムシの仲間。北海道で初音が降る頃に見られるのでユキムシと呼ばれています。白い部分はロウ状の物質だそうです。



ヨコツナサシガメの群

寒くなって彼らはよりいっそう集まって群をつくっていました！



ナガコガネグモの卵塊

茶色の大きなつぼ型の卵塊がありました。(下見時に観察)



←観察ルート

冬越しの植物たち

～ロゼットや幼苗～



タネツケバタ



セイヨウタンポポ



ヒメオドリコソウ



オランダミミグサ



オオバコ



ハルジオン



オオアレチノギク



オオイヌノフグリ



落ち葉拾いも楽しみました！



アオダイショウの幼蛇

日向ぼっこをするアオダイショウの幼蛇発見。気持ちよさそうに寝ているところを邪魔してごめんね！

冬鳥到来！

カンムリカイツブリ(左)やカシラダカ(右)のような冬鳥も見ることができました！ジョウビタキやオオジュリンツグミなどの声も聞こえてきてまさに冬到来を感じました。



アオダイショウの幼蛇

日向ぼっこをするアオダイショウの幼蛇発見。気持ちよさそうに寝ているところを邪魔してごめんね！